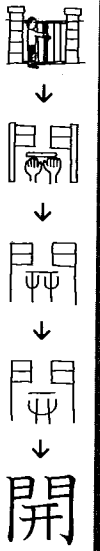
開

三年

画数 12
筆順 門門門開
オン カイ
クン ひら＝く＝ける
あ＝く＝ける

成り立ち



門があかないように左右のとびらにさしわたす〝よこ木〟を〝閂〟といいます。この閂をはずそうとりょう手（廾）をかけた形をあらわしたのが〝開〟です。

門を〝あける（ひらく）〟ことをあらわした字です。

門が〝あく〟こと。

また、「花が〝ひらく〟」というようにもつかわれます。

「門をひらく」と、「門の前が〝ひらける〟」ことになります。〝開ける〟は〝広がる〟といういみです。

〔閂の〝かんぬき〟は〝関の木〟の意味である。今の〝の〟は、古くは〝ぬ〟と発音された。〝関〟は「閂を紐で結んで〝門を開かぬようにする〟こと」をあらわした字で、通行人を〝せきとめる〟ことである。〕

使い方

▽十年に一どしか公開されないというので、見に行きましたが、開門の一時間も前なのに、なん百人もならんでいました。

▽開会のあいさつがすんで、きょうぎが開始されました。

熟語例

▽公開（公（2年129）に開放すること。だれでも自由に出入りできるようにすること。）

▽開放（門を「開け放つ」ことで、「だれでも自由に出入りできるようにすることをいいます。）

▽開門（「門を開ける」こと。）

▽開会（「会を開く」ことですが、「会を始める」といういみです。）

▽開始（この〝開〟は〝始める〟いみ。〝始める〟こと。また、〝始まる〟こと。）

▽開幕（幕が開いて「しばいが始まる」ことから、ものごとの〝始まり〟のいみにつかわれます。）

▽開閉（「開いたり閉じたりする」こと。開くことと閉じること。）

階

三年

画数 12
筆順 阝阝阝阝階
オン カイ
クン

成り立ち

おやゆびの形をあらわし、〝百〟という字のもとの字である。〝白〟と、人がならんですわっている形をあらわした〝比〟とを組み合わせて作った〝皆〟という字は、「たくさん（百人）の人が〝みな〟きちんとならんでいる」ことをあらわした字です。

階は、がけの形をあらわした〝阝〟と〝皆〟とを組み合わせて作った字で、「がけを上り下りするのにべんりなように作った〝だんだん〟」をあらわしたものです。

たくさんきちんとならんでいるので〝皆〟といったものです。〝階段〟のことです。階段のあるたてものを〝二階・三階〟ということから「たてものの〝階層〟」のいみにつかわれるようになり、また、「身分の高ひく」をあらわすことばとしてつかわれるようになりました。

使い方

▽三年二組の教室は、二階にあります。三年生になったさいしょの日、ぼくは、階段を一段おきにかけ上って、先生にしかられました。

▽わたしの家の階段は、十五段あります。皆さんの家や学校の階段が、なん段あるか、かぞえたことはありますか？

熟語例

▽階段（たてものなどで、上り下りするために作られた段）

▽階級（身分の高さの段階。「日本では、ヨーロッパやインドほど、階級にさがありません」などというふうに、つかいます。）

▽階層（①たてものの階のかさなり。②社会の地位の高ひくによる層）